

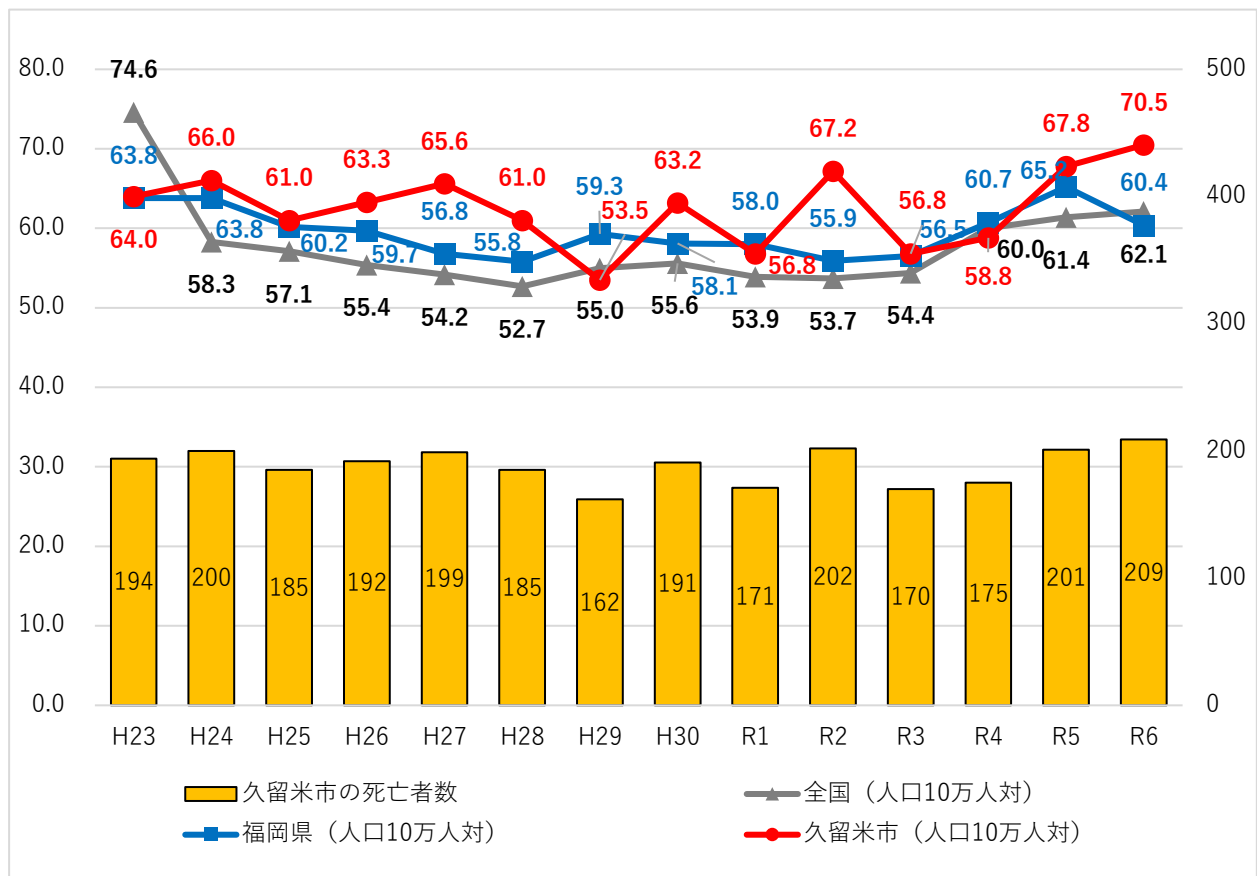
3 外因死に関する状況

※ここでの外因とは、病気や老衰ではない、その他の要因で起こるけがや事故のこと。

(1) 外因による死亡者数（人口動態統計）

久留米市の外因による死亡者数は、令和4年以降増加している。
増加の要因については、今後検証していく必要がある。

■[図 3-1]外因による死亡者数、及び人口 10 万人当たりの数の推移



(2) 年齢階級別の死亡原因上位（福岡県保健統計年報） ※病気等による死亡含む

外因及び病気等による死亡原因を年齢層ごとにみると、自殺が10歳代から30歳代までの死亡原因の1位、40歳代から50歳代では2位となっている。

■[図 3-2]R1～R5 年の年齢階級別の死亡原因上位 5 位

※()内は人数

年齢層	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～9 歳	染色体異常等 (9)	その他の症状 (7)	周産期に発生した病態 (5) <u>不慮の事故 (5)</u> …窒息(2)、交通事故・転倒転落墜落・溺死溺水(1)		新生物〈腫瘍〉(4)
10～19 歳	自殺(10)	新生物〈腫瘍〉 (5)	神経系の疾患 (4)	<u>不慮の事故(2)</u> …交通事故・転倒転落墜落(1)	周産期に発生した病態・染色体異常等・その他の外因 (1)
20～29 歳	自殺(30)	神経系の疾患 (6)	新生物〈腫瘍〉(5) <u>不慮の事故(5)</u> …交通事故(5)		内分泌、栄養及び代謝疾患・心疾患・染色体異常等・その他の症状 (4)
30～39 歳	自殺(34)	新生物〈腫瘍〉 (19)	その他の症状 (11)	<u>不慮の事故(9)</u>	心疾患(4)
40～49 歳	新生物〈腫瘍〉 (107)	自殺(51)	心疾患(19) 脳血管疾患(19)		その他の症状 (18)
50～59 歳	新生物〈腫瘍〉 (238)	自殺(56)	心疾患(48)	脳血管疾患(43)	消化器系の疾患 (37)
60～69 歳	新生物〈腫瘍〉 (715)	心疾患(76)	消化器系の疾患 (73)	消化器系の疾患 (68)	脳血管疾患(67)
70～79 歳	新生物〈腫瘍〉 (1,521)	心疾患(228)	脳血管疾患 (209)	その他の呼吸器系疾患(208)	肺炎(146)
80～89 歳	新生物〈腫瘍〉 (1,697)	心疾患(703)	その他の呼吸器系疾患(472)	脳血管疾患 (458)	老衰(362)
90 歳以上	老衰(1,008)	心疾患(874)	新生物〈腫瘍〉 (766)	その他の呼吸器系疾患(379)	脳血管疾患 (339)

(3) 死亡統計における不慮の事故等のデータ（人口動態統計）

①年齢層別 不慮の事故等による死亡の上位5位

10～69歳の自殺の件数は他の要因と比較して特に多い。

また、高齢になるほど溺死・溺水、転倒・転落、窒息による死亡が多い。

■[図 3-3]R2～R6 年の不慮の事故等による死亡の上位 5 位

※()内は人数

年齢層	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～9 歳	窒息(2)	交通事故(1)			
		転倒・転落(1)			
10～19 歳	自殺(12)	交通事故(2)	窒息(1)		
20～29 歳	自殺(32)	交通事故(5)			
30～39 歳	自殺(36)	溺死・溺水(3)		転倒・転落(2)	窒息(1)
		交通事故(3)			煙・火(1)
40～49 歳	自殺(53)	溺死・溺水(3)		転倒・転落(2)	
		窒息(3)		煙・火(2)	
50～59 歳	自殺(58)	交通事故(5)	溺死・溺水(4)	その他不慮の事故(3)	窒息(2)
					煙・火(2)
60～69 歳	自殺(33)	溺死・溺水(16)	窒息(10)	交通事故(9)	転倒・転落(6)
70～79 歳	溺死・溺水(67)	自殺(29)	転倒・転落(16)	その他不慮の事故(14)	窒息(12)
80～89 歳	溺死・溺水(91)	転倒・転落(48)	その他不慮の事故(40)	窒息(21)	自殺(14)
90 歳以上	転倒・転落(57)	溺死・溺水(29)	窒息(23)	その他不慮の事故(20)	交通事故(4)
					自殺(4)
合計	自殺(271)	溺死・溺水(213)	転倒・転落(132)	その他不慮の事故(80)	窒息(75)

(前ページと比較)

過去の累計と比較すると、全体的に交通事故、自殺による死亡が減少している。

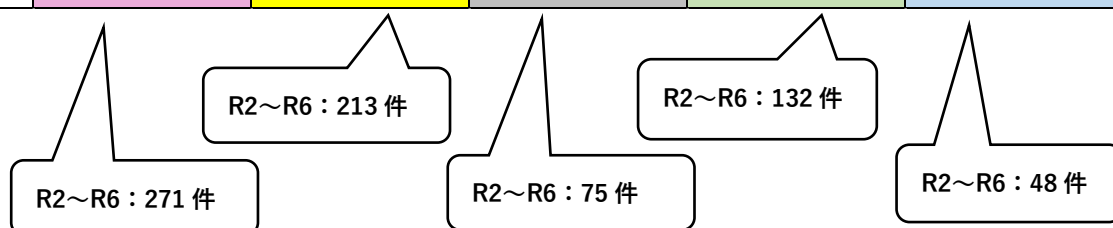
一方、転倒・転落による死亡は増加している。

【平成 25 年認証申請書より】

■[図 3-4]H19～H23 年の不慮の事故等による死亡の上位 5 位

※()内は人数

年齢層	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～9歳	溺死・溺水(2)	交通事故(1)			
10～19歳	自殺(8)	交通事故(5)	転倒・転落(1)		
20～29歳	自殺(38)	交通事故(7)	溺死・溺水(4)	煙・火(1)	
30～39歳	自殺(59)	交通事故(6)	中毒等(4)	転倒・転落(2)	他殺(1)
40～49歳	自殺(59)	交通事故(6)	中毒等(3)	溺死・溺水(2)	転倒・転落(1)
50～59歳	自殺(86)	交通事故(13)	溺死・溺水(4)	窒息(7)	その他不慮の事故 (6)
60～69歳	自殺(56)	溺死・溺水(14)	交通事故(12)	窒息(10)	転倒・転落(7)
70～79歳	溺死・溺水(44)	自殺(40)	窒息(26)	転倒・転落(25)	交通事故(17)
80～89歳	溺死・溺水(55)	窒息(22)	その他不慮の事故 (28)	転倒・転落(24)	自殺(21)
90歳以上	転倒・転落(23)	窒息(22)	溺死・溺水(11)	その他不慮の事故 (8)	交通事故(6)
合計	自殺(369)	溺死・溺水(143)	窒息(115)	転倒・転落(88)	交通事故(84)



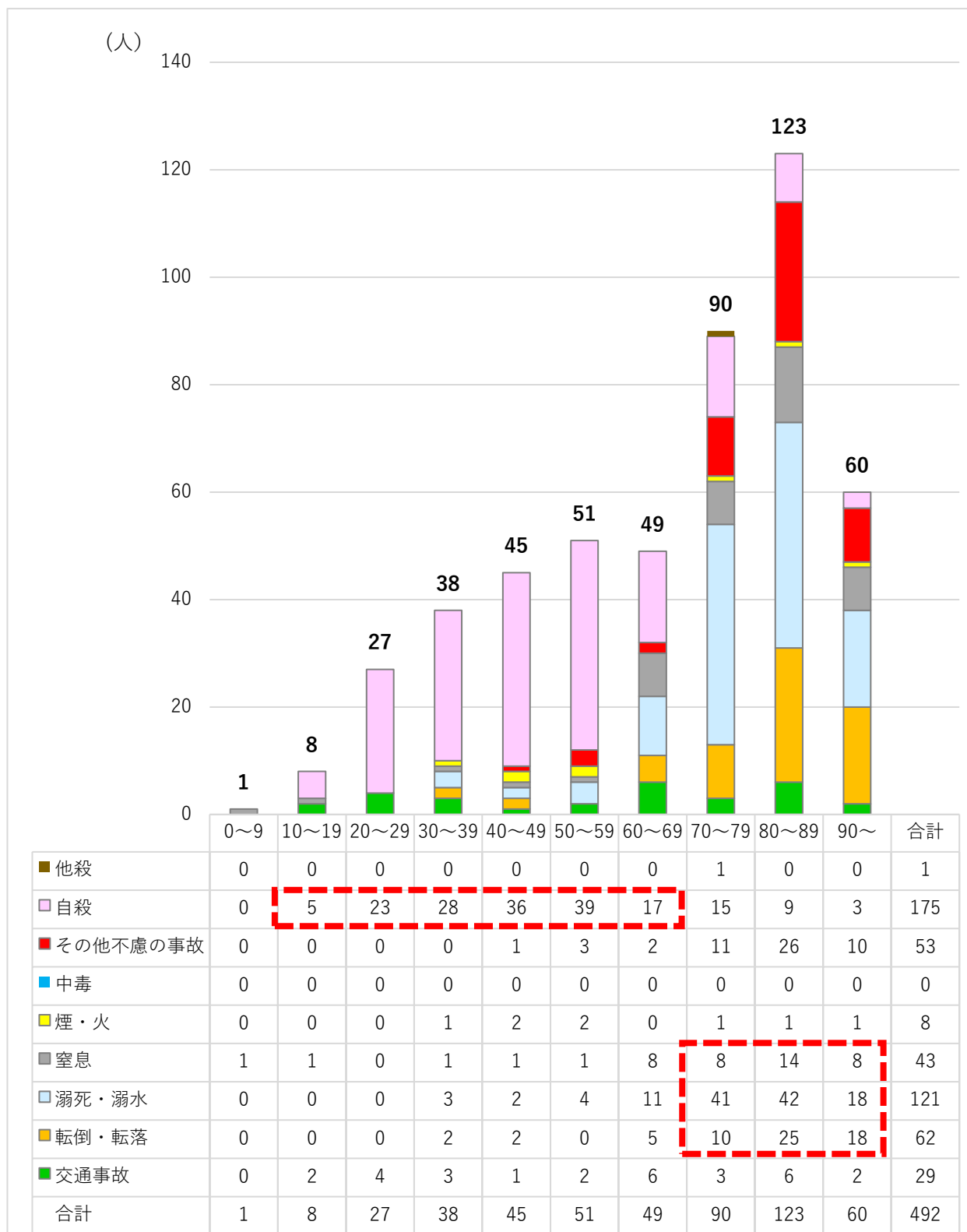
② [男性] 不慮の事故、自殺による死亡数（人口動態統計）

10～60 歳代は自殺の件数が最も多く、女性に比べて男性の方が多い。

70 歳以上は、溺死・溺水、窒息、転倒・転落の件数が多くなる。

80 歳代の件数が最も多く、要因として溺死・溺水の件数が多い。

■[図 3-5] 男性の年齢層別の不慮の事故等による死亡数（R2～R6 年の 5 年間累計）



③ [女性] 不慮の事故、自殺による死亡数（人口動態統計、R2～R6 年の 5 年間の累計）

男性と同じく 10～60 歳代では自殺の件数が最も多く、70 歳代以上では溺死・溺水、窒息、転倒・転落である。

なお、男性と比べ 90 歳以上では転倒・転落による死亡数が多い。

■[図 3-6]女性の年齢層別の不慮の事故等による死亡数（R2～R6 年の 5 年間累計）

